

2 明科中2学年『職場体験学習』

4月14(火)・15日(水)

明科中2学年は、1年次の安曇野市キャリアフェスティバルで、「働くとは」ということについて考える機会を持ちました。今回は、自分が選んだ地域事業所で、実際の仕事やそこで働く方と関わることを通して、礼儀やマナーを身につけると共に、働くことの意義を考え、将来の進路選択に生かす職場体験を実施しました。生徒は、緊張しながらも、担当者の話をしっかりと聞き、やるべきことに精一杯取り組んでいました。体験までに必要となる交渉や当日に向けた必要事項の確認等も、全て生徒自ら進めました。

お忙しい中、地域の中学生を快く受け入れてくださった事業所の皆様に感謝すると共に、温かな思いが通い合う地域で学ぶよさを実感できた職場体験学習になりました。

＜職場体験学習の様子から＞ ※生徒の希望で、30以上の事業所が受け入れてくださいました。



＜職場体験学習の振り返りから＞

すごく楽しく過ごさせていただきました。今日、特におどろいたのは「介護食」と「介護食器」です。利用者さん一人一人のネームプレートに、その他のアレルギーや「トロミごはん」のかたさなどが書かれていました。最初に全員同じものを作り、食が細い人の分はミキサーにかけてあって、工夫がほどこされていました。介護食器は、右半身がまひしている人の場合、左が平らになってつぶれており、右かべが高くなっていて、左手だけで食べられるようになっていいるなど工夫がありました。それもネームプレートに「介護食器(左)」と書いてあって、命をあずかる仕事は大変だなと実感しました。(社会福祉協議会あいりす)

ほいく園の先生は、髪が長い人は髪を結んだり、子どもたちがやりたいと思えるように色々工夫してやってみたりしているところがすごいと思いました。子どもたちが静かにならないときは「アリさんの声で話そう!」とかいつでも楽しくいられるようにしていました。保護者の方から命を預かっているのもそうだし、子どもの成長をよくしてくれている場所であるなと思いました。(明科南認定こども園)